

昭和十五年

1011


一  
四

四

1012

師團編成  
下令

昭和十五年七月十日軍令陸甲

第十五號昭和十五年在滿軍

備改變要領ニ據リ師團編

成ヲ下令セラレ八月一日編成ヲ

開始ス

師團編成

師團ニ屬スル部隊及其編成地

(編制改正地)並ニ編成(編制改正)

担任官左ノ如シ

部隊名 區分 編成地 編成担任官

第二十八師團通信隊	輜重兵第二十八聯隊	工兵第二十八聯隊	山砲兵第二十八聯隊	騎兵第二十八聯隊	步兵第三十六聯隊	步兵第三十聯隊	步兵第三聯隊	第二十八步兵團司令部	第二十八師團司令部
同	同	同	同	新設	改變	改變	改變	稱號變更及改變	新設
新京	雙城壘	新京	公主嶺	公主嶺	福井全	穆稜全	北京全	穆稜	新京
步兵第三聯隊長	輜重兵第二十四聯隊長	工兵第二十四聯隊長	山砲兵第十一聯隊長	搜索第二十四聯隊長				當該部隊長	關東軍司令部官
					右	右	右		

1014

歩兵團司令部  
編制改正完結

八月五日第二十八歩兵團司令部  
ハ其ノ編制改正ヲ完結ス

師團長著任

八月十日師團長陸軍中將石  
黒貞藏新京ニ著任ス

師團司令部  
編成完結

八月十二日第二十八師團司令部  
ノ編成ヲ完結シ師團長ハ幕  
僚各部長ヲ帶同シ関東軍  
司令官ニ申告ス

關東軍司令官ノ師團長ニ與  
ヘラレタル訓示左ノ如シ

第二十八師團長ニ與アル訓示

茲ニ第二十八師團編成成リ予

ノ隸下ニ入り關東軍ノ威容ニ

一段ノ光彩ヲ加ヘタルハ深ク欣

幸トスル所ナリ

時恰モ皇國カ支那事變處理

ノ完遂ヲ策シツツ而モ對ソ戦

備ノ劃期的刷新充實ニ邁  
進セントスル秋ニ方リ選ハレテ  
新兵團ヲ統率シ對ソ国防  
ノ第一線ニ立ツ蓋シ本懷ト  
スル所ナルヘシ  
惟フニ現下端倪スヘカテサル國際  
變局ニ當面シ関東軍ノ使命  
ハ愈々重大ヲ加ヘタリ軍ハ  
默々トシテ更ニ必勝不動ノ陣  
容ヲ強化シ北邊ノ重鎮トシテ

國策遂行ノ支柱タラントス  
本職著任以來隸下部隊ニ訓  
示セルトコロハ別ニ之ヲ頒布セシ  
ム宜シク本職ノ意圖ヲ体シ  
一意鞏固ナル團結ノ結成ト  
訓練ノ精到トニ精進シ以テ  
上聖慮ヲ安ンシ奉リ下國民  
ノ信賴ニ對フルト共ニ盟邦滿  
洲國ノ信倚ニ背カサランコト  
ヲ期スヘシ



昭和十五年八月十二日

關東軍司令官 梅津美治郎

滿洲帝國

皇帝陛下

覬見ヲ賜ル

八月十二日師團長ハ淺野參謀長及清水副官ヲ帶同シ滿洲國宮内府ニ參入滿洲帝國皇帝陛下、覬見ヲ賜レリ

師團司令部  
編成完結  
時師團長  
訓示

師團編成完結

八月十二日午後師團長ハ師  
團司令部全員ニ對シ左ノ如  
ク訓示ス

師團各部隊ハ左ノ通編成(編  
制改正)ヲ完結ス

步兵第三聯隊	八月十三日
步兵第三十聯隊	八月十三日
騎兵第二十八聯隊	八月二十一日
山砲兵第二十八聯隊	八月十五日
工兵第二十八聯隊	八月十三日
輜重兵第二十八聯隊	八月二十三日
第二十七師團通信隊	八月十三日
第二十八步兵團司令部	步兵
第三十聯隊	八月十三日零時
前項	爾餘、諸隊、各々其ノ

一四  
年

編成完結時ヲ以テ師團長ノ

隸下ニ入ル

(歩兵第三十六聯隊ハ昭和十

五年十月大連上陸又ハ日滿

國境通過ノ時ヲ以テ師團長

ノ隸下ニ入ル筈)

師團ノ  
主要職負

師團ノ主要職負左ノ如シ

師團長	陸軍中將	石黒貞藏
參謀長	陸軍歩兵大佐	淺野克己
參謀	陸軍歩兵中佐	楠田胤成
同	陸軍歩兵大尉	田熊利三郎
同	陸軍砲兵大尉	林忠彦
副官	陸軍歩兵中佐	寺田忠雄
同	陸軍歩兵大尉	原田甫三郎
同	陸軍砲兵中尉	清水賢吉
兵器部長	陸軍歩兵中佐	前山佐四郎

經理部長	陸軍主計中佐	川島一之助
軍医部長	陸軍軍医中佐	中溝清明
獸医部長	陸軍獸医少佐	谷口鎌三郎
第八歩兵團長	陸軍少將	福榮真平
歩兵第三聯隊長	陸軍歩兵大佐	河添連
歩兵第七聯隊長	同	柏德
歩兵第六聯隊長	同	山田三郎
騎兵第八聯隊長	陸軍騎兵中佐	今村元三郎
山砲兵第七聯隊長	陸軍砲兵中佐	福村良成
工兵第八聯隊長	陸軍工兵中佐	大賀茂久次

輜重兵第八聯隊長 陸軍輜重兵大佐 横山伊三郎

第八師團通信隊長 陸軍歩兵大尉 松下 孝

團隊長會同 八月二十七日 隸下團隊長會同

ヲ 新京師團司令部ニ於テ實

施ス

師團司令部 八月三十日 新京

移駐 出發羽立三十一日 哈爾賓ニ移

駐ス

四

四

1026



隸下ノ各部隊ハ其ノ編成(編  
制改正)地ニ分駐シアリシ所  
九月四日ヨリ九月二十日ニ至  
ル間ニ於テ左ノ如ク哈爾濱ニ  
移駐完了集結セリ

第二十八步兵團司令部 九月四日

歩兵第三十聯隊 九月二十日

騎兵第二十八聯隊 九月九日

山砲兵第二十八聯隊 九月十一日

工兵第二十八聯隊

九月五日

第二十八師團通信隊

九月六日

九月二十日十二時師團長哈爾濱駐屯地司令官トナリ前駐屯地司令部タル第五獨立守備隊司令部ヨリ當該業務ヲ引継ヲ受ケ直チニ業務ヲ開始ス

十月十四日ヨリ翌十五日ノ	兩日ニ亘リ歩兵第三十六聯	隊ハ遂次日滿國境ヲ通過シ	師團長ノ隸下ニ入り新京	市内「ペスト」發生流行ノ爲	一時左ノ如ク分駐ス	聯隊本部及第二大隊 公主嶺	第一大隊 一面坡	第三大隊 新站	歩兵砲大隊及通信中隊 鉄嶺
--------------	--------------	--------------	-------------	---------------	-----------	---------------	----------	---------	---------------

輜二八移駐

十月二十三日輜重兵第二十八

聯隊ハ編成地雙城堡ヨリ

孫家(哈爾濱東南方約十

六料)ニ移駐ス

各部隊整

十月十八日ヨリ十月二十九日

備検査実施

ニ亘ル間ニ於テ隸下各部隊

(除歩兵第三十六聯隊)ノ整

備検査ヲ實施ス

師團長初  
度巡視

九月七日ヨリ十一月十五日

ニ至ル間ニ於テ師團長隸

下各部隊ノ初度巡視ヲ

實施ス

十一月十日陸軍少尉栗田

栗田候爵  
御来隊

候爵御来隊遊ハサレ師

團長參謀長幕僚部長

ハ御機嫌ヲ奉伺ス

歩三六ノ移駐

十一月十八日ヨリ同月二十六

日間ニ於テ歩兵第三十六

聯隊(在一面坡第一大隊ヲ除

ク)ノ各隊ハ原駐地ヨリ新

京ニ移駐集結ス

團隊長會同

十一月二十五日團隊長會

同ヲ哈爾濱師團司令部ニ

於テ行ヒ引續キ翌二十六日

ヨリ十一月二十九日ニ至ル四日

一四

年

1032

間兵棋ニ依リ團隊長教育  
ヲ實施シ師團ノ作戰任務  
ニ基ク師團長ノ統率方針  
ヲ徹底セシム

1033

幕僚異動

十二月二日附左ノ通發令セラ

ル

陸軍大尉 田熊利三郎

第二十八師團參謀被免

補陸軍兵器本部附兼陸軍省

兵務局課員

一四

四

1034



歩三。長転補

十二月二日附歩兵第三十

聯隊長柏大佐ハ少將ニ任セ

ラシ転出シ陸軍大佐小田

正人後任仰付ケラル

第三六整備

検査実施

十二月十三日歩兵第三十六

聯隊(在一面坡第一大隊ヲ除

ク)同月二十六日同聯隊第

一大隊ノ整備検査ヲ實施ス

師團制毒訓

練所編成

完結

十一月十九日師團通信隊長

松下大尉編成担任官トナリ

編成業務ヲ開始セル第二十

八師團制毒訓練所ノ編成

十二月五日完結ス

初代所長八陸軍中尉那須

憲三トス

1036

通稱號規  
定、使用開  
始

昭和十五年十一月十四日陸  
滿機密第一三號ニ依リ在滿  
諸部隊ノ通稱號ヲ規定セラ  
レ同年十二月二十日ヨリ所  
定ノ通稱號ヲ使用ス

1037


一  
區  
年

1038

昭和十五年年度第二十八師團將校高等文官職官表

司令部附		參謀部附	幕僚				參謀長	師團長	區分					
			副官	參謀	參謀	參謀								
中尉佐藤恒吉	大尉小森武夫		中尉清水賢吉	大尉原田甫三郎	中佐寺田忠雄	大尉林忠彦	大尉田熊利三郎	中佐楠田胤成	大佐淺野克巳	中將石黒貞藏	八月十二日現在	轉出月日	轉入月日	十二月三十一日現在
		八月十八日												
中尉佐藤恒吉	大尉小森武夫	少尉渡邊稔	中尉清水賢吉	大尉原田甫三郎	中佐寺田忠雄	大尉林忠彦		中佐楠田胤成	大佐淺野克巳	中將石黒貞藏				

獸醫部	軍醫部	經理部	兵器部
長 獸少佐 谷口鎌三郎 獸中尉 鈴木啓介	長 軍中佐 中溝清明 軍少佐 小石義夫 軍大尉 佐藤悌二郎	長 主中尉 川島一之助 主少佐 山本哲藏 主尉 松林 茂 主中尉 木村信三郎 主少尉 山根 繁	長 中佐 前山佐四郎 大尉 上田幸吉 大尉 新田為次郎
	九月六日	十二月二日	
長 獸少佐 谷口鎌三郎 獸中尉 鈴木啓介	長 軍中佐 中溝清明 軍少佐 小石義夫 軍大尉 佐藤悌二郎 軍中尉 蓮市村憲雄	長 主中尉 川島一之助 主少佐 山本哲藏 主尉 松林 茂 主尉 洲河 伸 主尉 木村信三郎 主中尉 安村 正義 主中尉 山根 繁	長 中佐 前山佐四郎 大尉 上田幸吉 大尉 新田為次郎